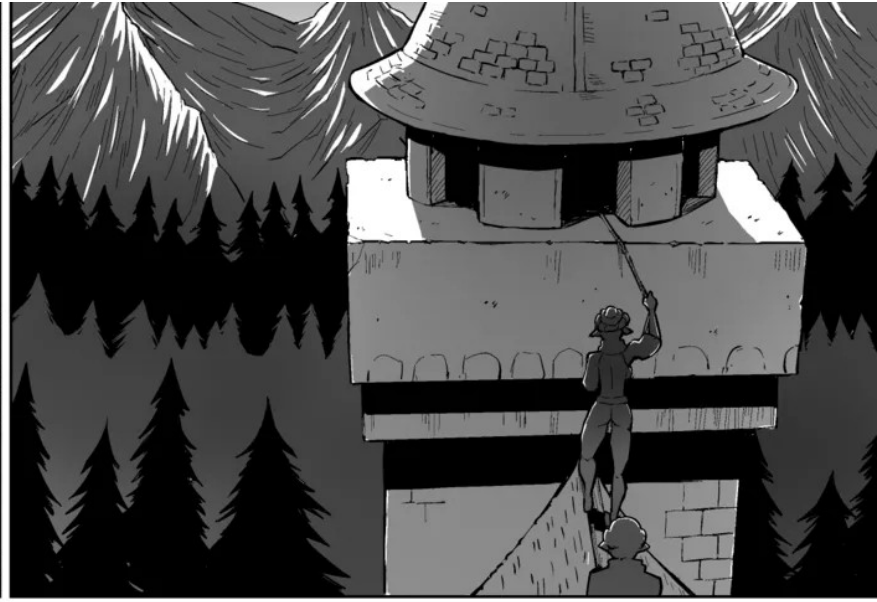


彼女の部屋は
尖塔の中です

屋根から伝って
行きましょう

分かった





見張りか…

お待ちを

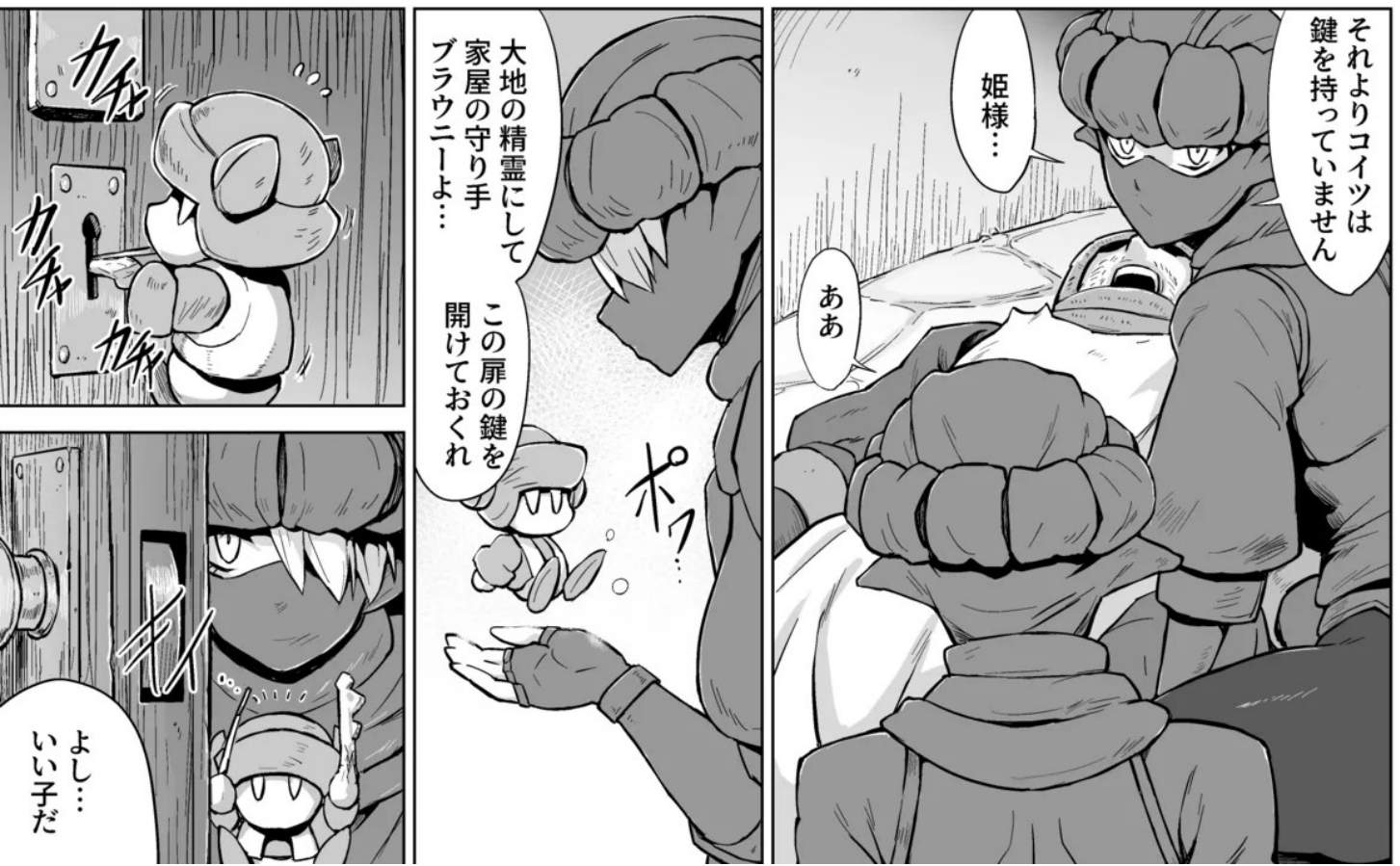
はい…
一人だけですが
騒がれると
厄介です

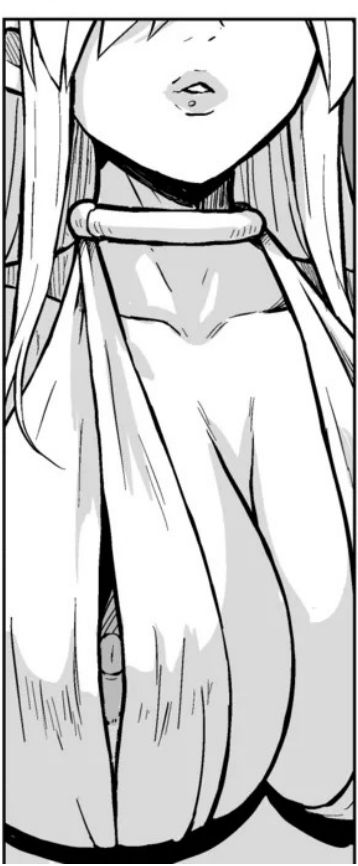


行け!

精霊よ…

私にお任せ
ください







大きくなりましたね

まあ…
レギーナ…
思い出しました



そして
私は…

あなたの娘です



この者は
アイリ

私の名は
レギーナ

我々はあなたが
かつて治めていた
「翡翠の森」のエルフ…



すぐにここから
脱出しましょう！

とにかく貴方は
こんな所に居るべき
ではありません



150年前
人間達に森が襲われた時
攫われてしまった貴方を
救出しに来ました

族長からは危険だと
止められたのですが

私は納得出来ず
従者のアイリを
連れて強引に…



そうは
いかな！



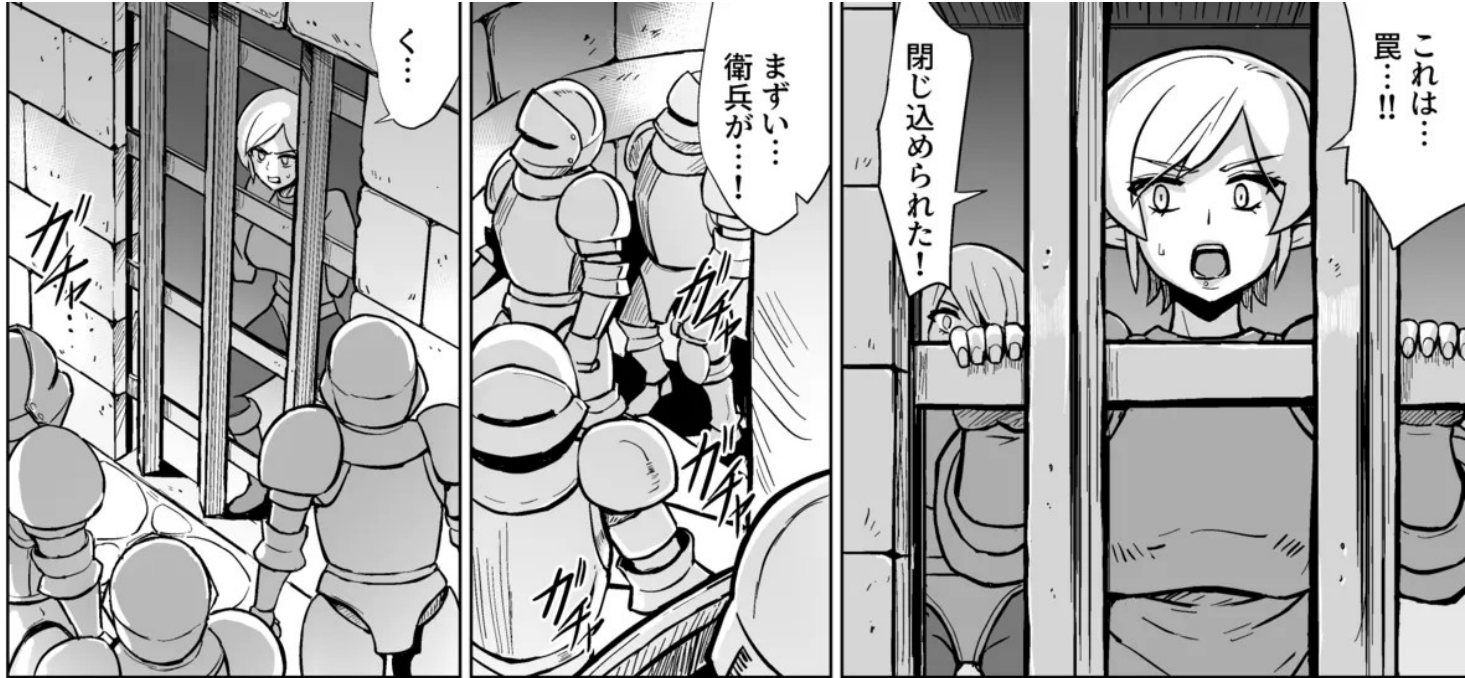
近くの川が
出口になっていて
そこに仲間を
待機させてます

馬を連れて
見張らせてますので
それに乗って逃げましょう



塔の地下に
外へ通じる
隠し通路があります

外からは
封鎖されていましたが
内側からなら
開けられるはず



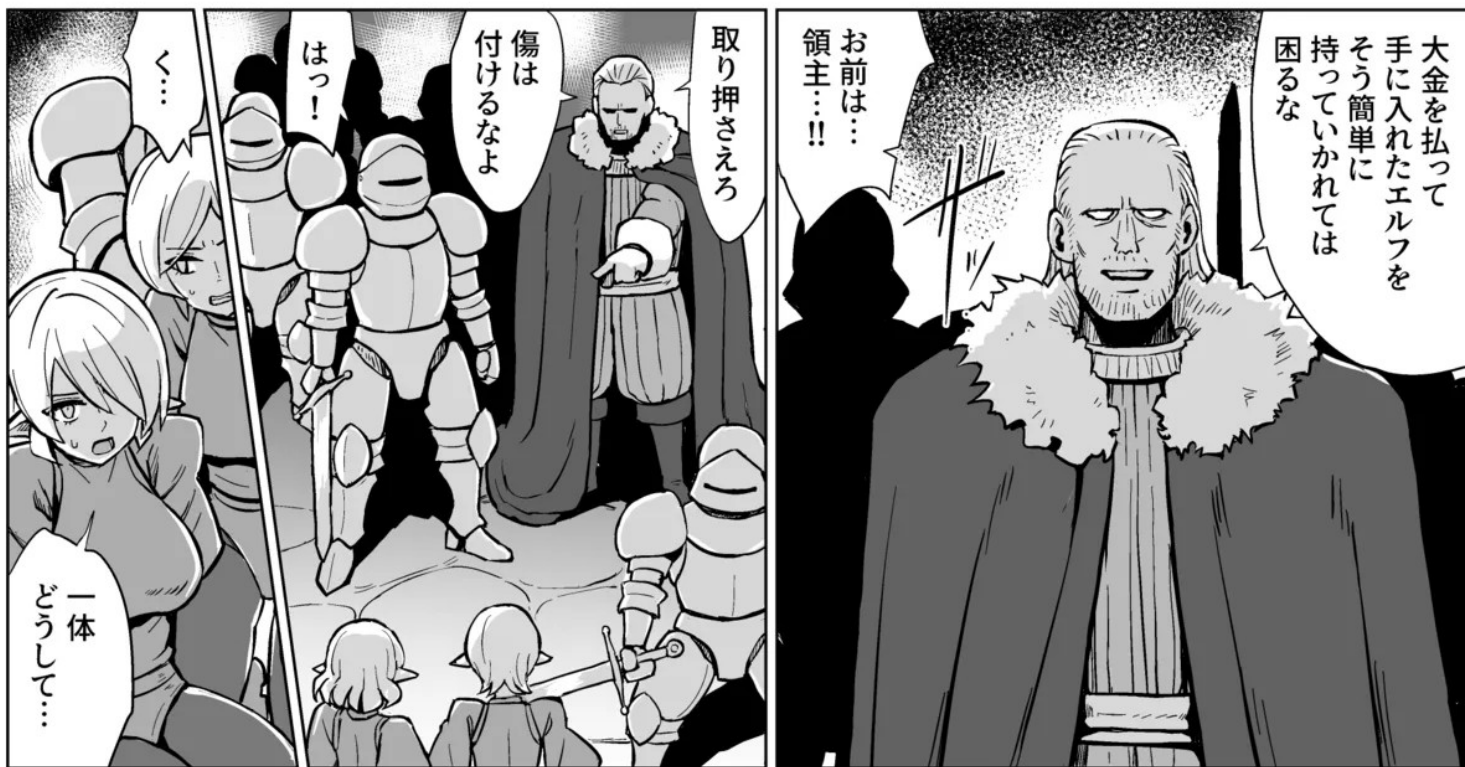
これは…
異…!!

閉じ込められた!

まずい…
衛兵が…!!

く…

カチカチ…



大金を払って
手に入れたエルフを
そう簡単に
持っていかれては
困るな

お前は…
領主…!!

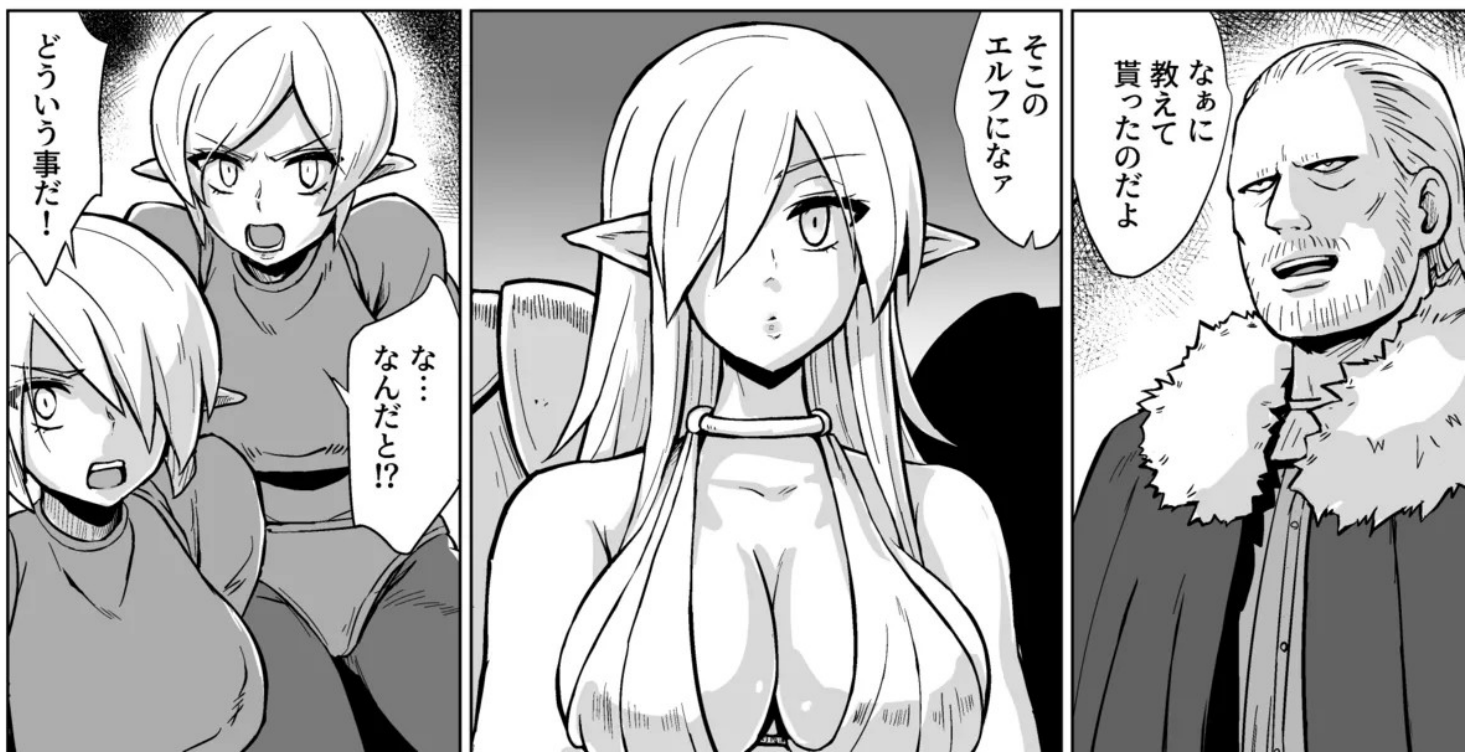
取り押さえろ

傷は
付けるなよ

はっ!

く…

一体
どうして…



なあに
教えて
貰ったのだよ

その
エルフになア

な…
なんだと!?

どういう事だ!

森の精霊が
知らせて
くれたのです



森に潜む者が2名…
闇に紛れて
城に近づいてくると…

そ…それは
「遠視」の魔法!

森の大精霊を
使役する
高等精霊魔術…!!

コイツはしよつちゅう賊共に
狙われるから俺の命令で
見張らせてたんだ

だがまさか
エルフの同胞が
やってくるとはな
しかも女が二人と来たモンだ

ククク…
ツいてるぜ

あなたは人間共に
拉致されたのに…



なぜ
こんな人間などに
力を貸すのです!!

闇の中で
私を可愛がってください
から…



それは…



このお方が…
ご褒美をくださるから…

な…



だ…大長老…
乱心されたのか!

ククク…
エルフってヤツは
肉体的な快感に
極端に弱いらしい



この女も
歴代の飼い主に調教されて
今ではチンポのためなら
何でもいう事を聞く
快楽狂いの淫乱ビッチだぜ

俺が買った時にはもう
コイツは立派な
変態肉奴隷だったぜ

どんな宝飾品よりも
高い買い物だったかな

ば…
バカな…!!

ククク…
信じられんか
まあいい

お前達も
すぐに理解出来る

さて領主から
盗みを働いた者は死罪と
決まってるのだが…

お前達は
特別にカラダで
償わせてやる

コイツらは
新しい
肉奴隷だ

売り物になるまで
お前らが調教しとけ

だがくれぐれも
傷は付けるなよ

もし付けたら
貴様らが死刑だ

分かって
ますって

大事に
可愛がってやるぜ
ゲへへ…



領主様のお宝に手をけた罪は…



エルフの癖にデケエ乳してるじゃねえか



俺のチンポ程じゃねえがなぐひやひや



なあとすぐにコイツが欲しくておねだりするようになるぜ

うっ…

あの女エルフのようにな



重いんだぜ



ち…ちめ



さて俺はコイツにたっぷり「褒美」をやってくるでしょう

グハハハ



やめろ!!

やめろおおおお!!







こいつら人間の
ザーメンの臭いで
発情するらしいぞ

うっ……

とんだ
ヘンタイ種族だな
ひやはは!!

手エ空いてるヤツは
どんどん
ぶっかけてやれ!



ぐへへ
エルフのマンコは
最高に具合がいいぜ!!

くツ……
人間め……



これで
綺麗なお顔が
よく見えるな

うっ……



へっ
軽いカラダだぜ

よっと



オラ
立てや

次は
俺のチンポを
ぶち込んでやる



お高くとまってんじゃ
ねえぞ!!

エルフの姫様だか
何だか知らねえが
立場ってモンを
分からせてやるぜ!!

ぐっ...



ぐっ...

あッ...
あッあッ





あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

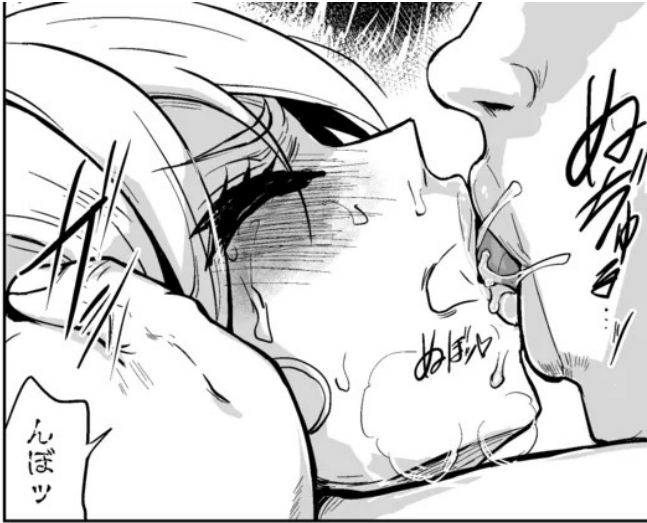
あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...

あッ...
あッ...



や...
やめ...ッ

ぐひひ...
テメエは
俺が落としてやるぜ

く...
く...
姫様ッ...

オラオラ
どうだ俺様の
チンポは!

エルフの租チンとは
比べモンに
ならねえだろう!!

く...
くそッ!!
は...
離せ!!

その汚い
ペニスを
抜けええ!!



すげえ
締め付けだぜ

そんなに
俺のチンポが
気持ちいいかよ!

こ…
こんな…

この私が
人間共のペニスで
感じるなど…

ち…
ちがっ…

そんなに
欲しけりゃ
くれてやる!!

溜まりに溜まった
特濃ザーメンを
たっぷりとなあ!

あ…あああッ
あああああッ





見ろよコイツの
エロいツラ!

すっかりマンコ
ぐちよぐちよにして
イキまくってんぜ!!

領主様の言った通りの
ドスケベマンコだな!

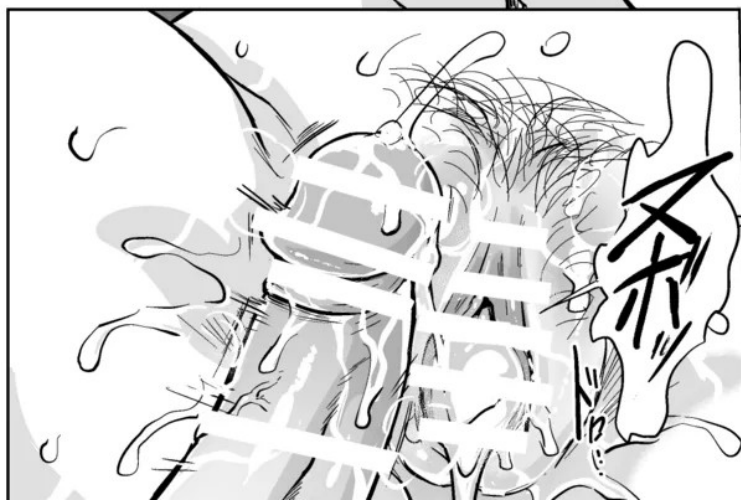
てめえらエルフは
無様な肉穴になるのが
お似合いだぜ!!



二度と歯向かえなく
なるまで
ワカらせてやる!

人間様のチンポで
徹底的になあ!!







オイオイ
へばってんじゃ
ねえぞ

まだまだ
後三十人は
いるんだからな

お前らは
飯と睡眠以外は
セックス漬けだぜ
ひやはは！

妊娠する頃にゃ
アタマもイっちゃう
かもなあ!!

ああ…

ああ…

は

は

は

は

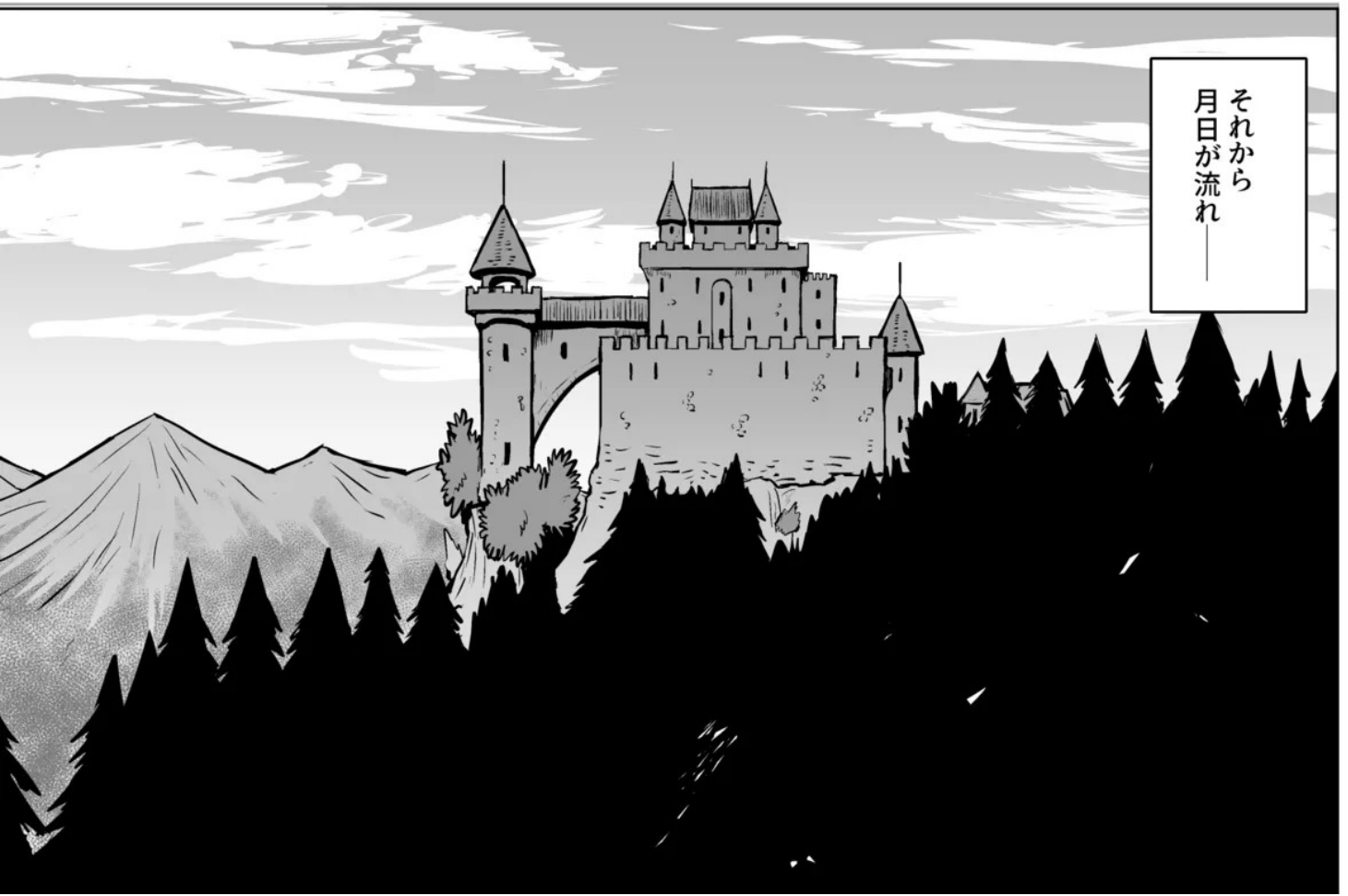
は

そして
二人のエルフは
凄惨な凌辱の果てに
妊娠した――

エルフ達の
受精率は
極めて低いにも
関わらず――

その年の内に
二人の混血エルフを
出産した……

それから
月日が流れ――

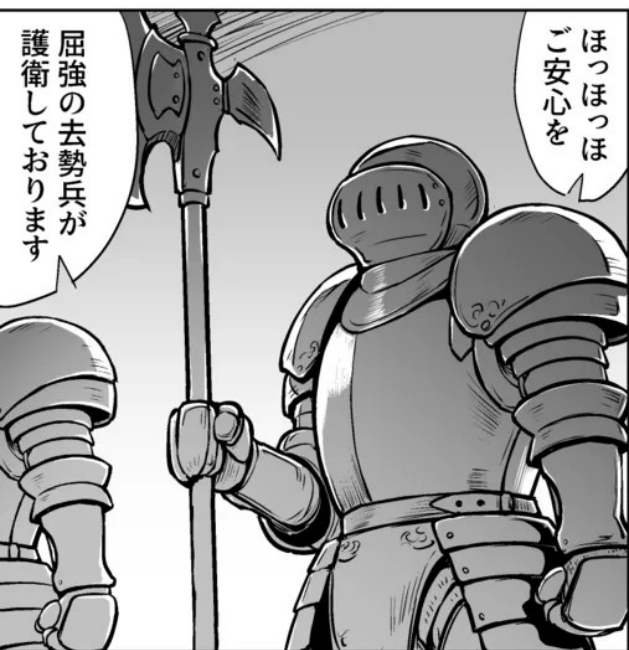




うむ

戦の大勝利
おめでとう
ございます

おかえりなさいませ
領主様



屈強の去勢兵が
護衛しております

ほっほっほ
ご安心を

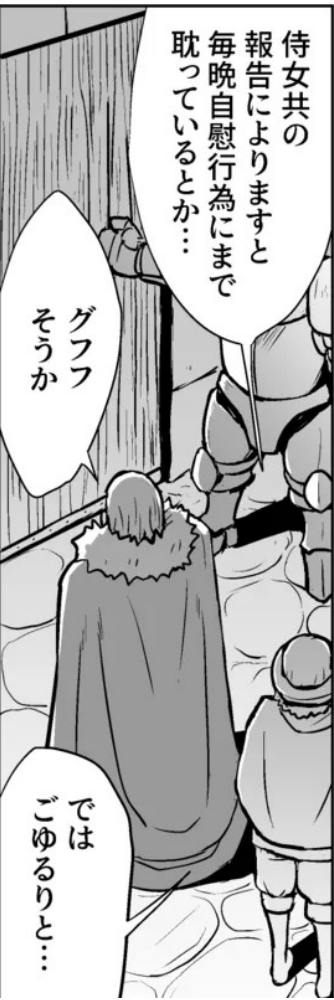
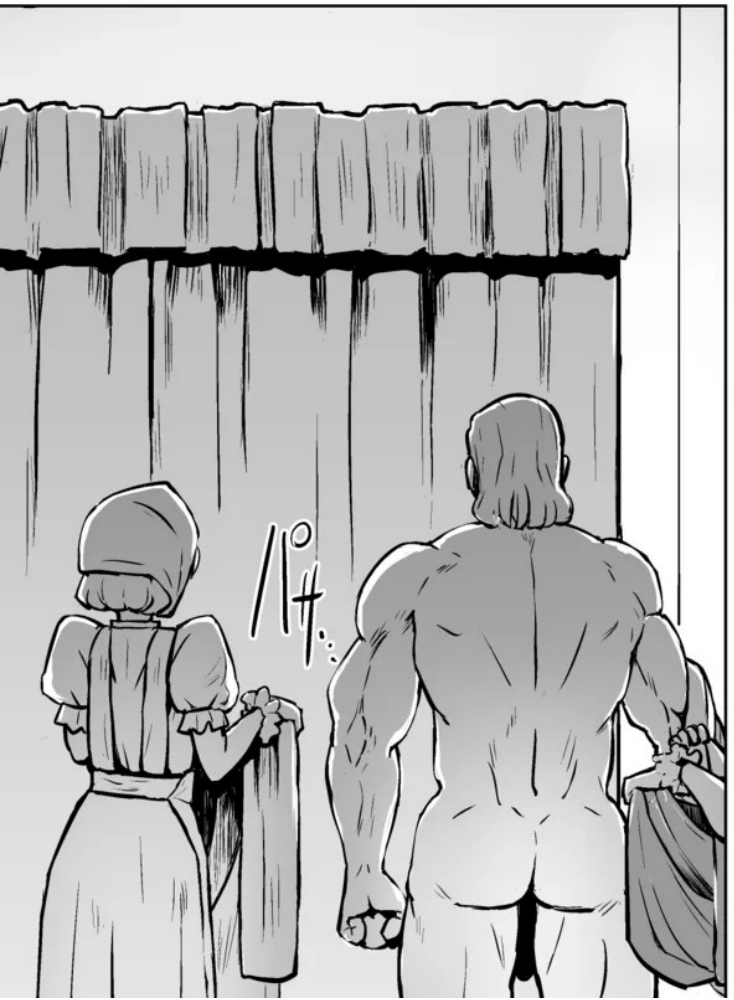


留守の間に
誰も近づけては
おるまいな？



女たちは
どうしている？

丁度産ませた赤子に
授乳している
頃合いですじゃ



侍女共の
報告によりますと
毎晩自慰行為にまで
耽っているとか…

グフフ
そうか

では
ごゆるりと…



何より
会って見れば
一目瞭然ですぞ

たっぷり調教された
雌エルフ三匹…
長い禁欲で相当男に
飢えておりますでな



あーん

んんん

あーん



ああ：
ようやく
お戻りに…

お待ちして
おりました
領主様…



さあ
抱いてやるぞ
エルフ共



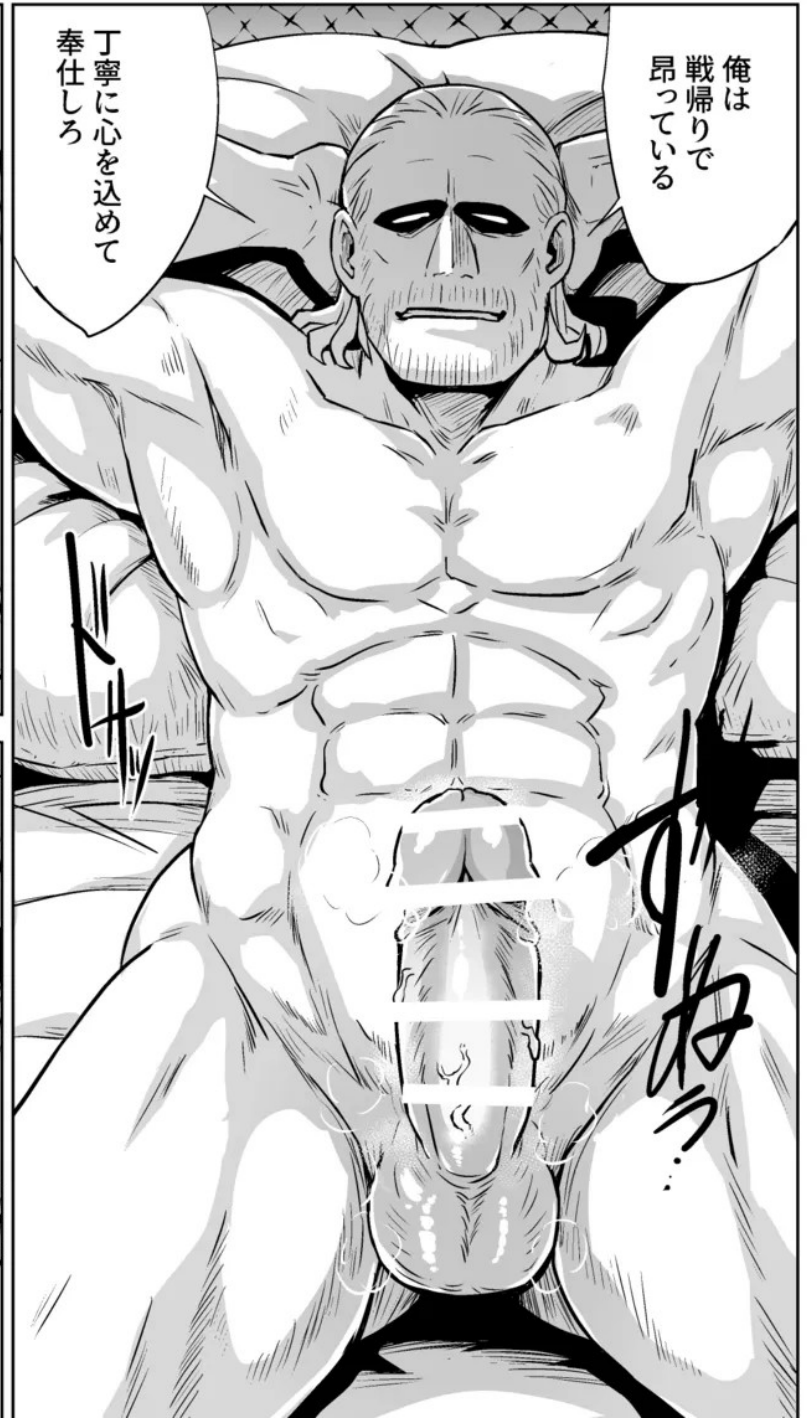
これからは
子作りの時間だ

グフフ：
子育ての時間は
終わりだ



ああ…
ああ…

まずは
貴様からだ



俺は
戦帰りで
昂っている

丁寧に心を込めて
奉仕しろ



んむ…

はむ…



んっ
はぁっ♡

お..
大きくて

遅しい...

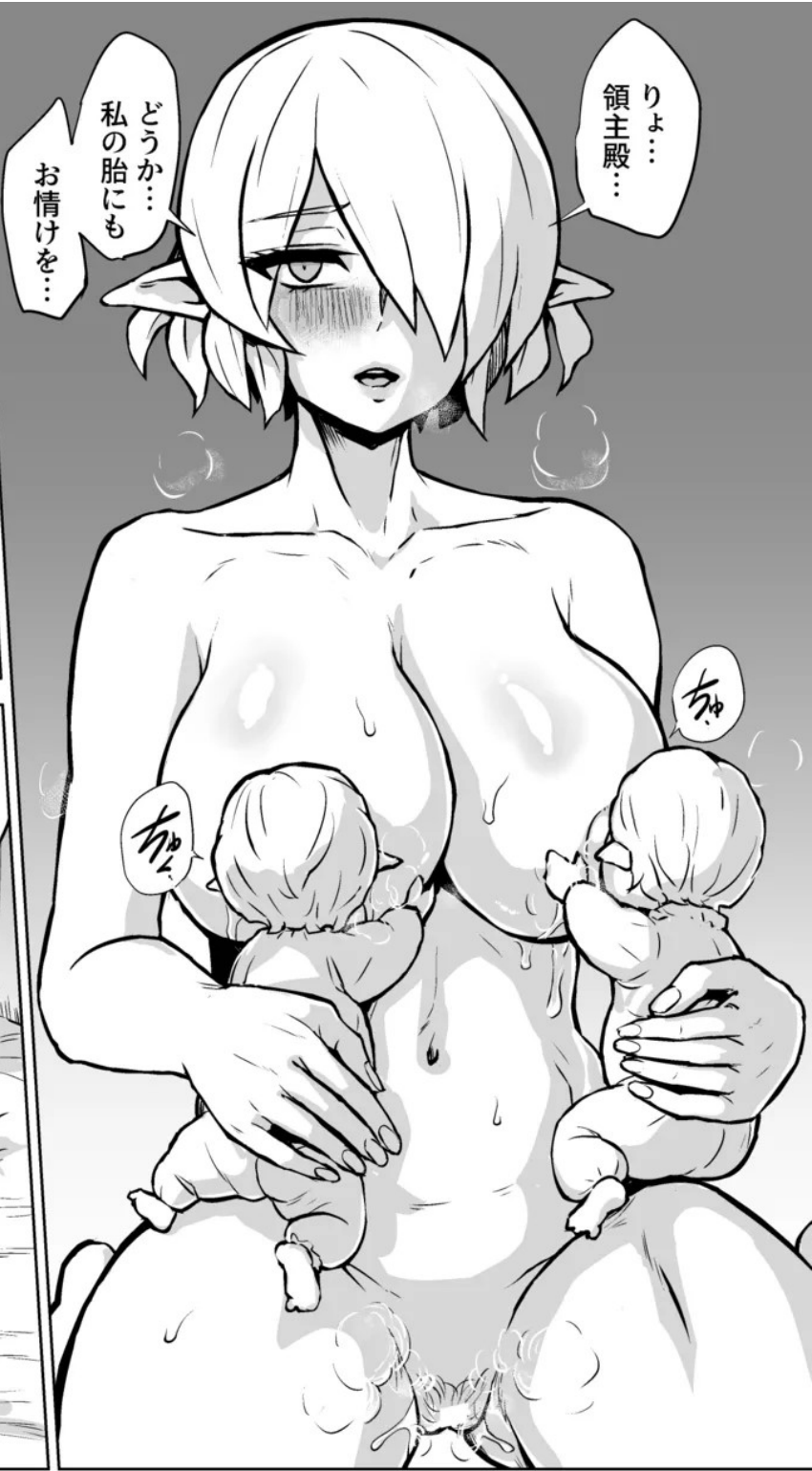
あなたの
ペニス...

何度も
妊娠させられた
私の子宮が...

新たな子種を求めて
疼いておりますッ

どうか存分に
射精してくださいませッ









人間との
交わりが…ッ

こんなに激しく…
気持ちいい
なんて…

エルフの里では
決して
得られなかった
こ…
こんな悦びは
初めてだッ



お…
おッおッッ♥

んおお…おッ♥

も…もう
何もかも
どうでもいっ

ここで
ひたすら交わって
人間の赤ちゃんを…

は…
母上のようにッ!!

そ…
注いでくれ!!

赤ちゃん…
いっぱい
産むからッ

何百回でも
射精してくれッ

き…
き…来たッ♥
い…ん…
イ…イ…クッ♥







う…
産ませてくれ…

その
ペニスッ

わ… ほ…
私も… 欲しいッ

雑兵など
ではなく

お…
お前の子をッ

た…
頼む…!!



りよ…
領主…ッ



んむっ♡



ああ…

よかろう
しっかり奉仕して
絞り出すがいい

妊娠出来なければ
雑兵共の種付け部屋に
放り込むからな



グフフ…
一番反抗的だった貴様も
エルフの性には抗えなかった
ようだな



か...
硬いなんてッ

まだ...
こんなにッ

い...
い...
イイな...

あ...
ああ...



さすがは
人間ッ

す...
凄まじい
性欲...



ほら...
ぼ...母乳...

お前も
飲んでみたら
どうだ...

きつと
長生き出来るぞ

そうすれば
私とずっと
子作りを...

あ...

くあああっ♥



ああッ♥

この
力強いペニスッ♥

性器から
伝わって来る…

胎を貫くような
生命力…!!



ああッ♥

ああッ♥

ああッ♥



むふっ♡
ぶっ♡

ぶっ♡



ああ...♥

あ...♥

おはあ...♥

は...♥

れろれろ

れろれろ

ぱん

ぐわん

ぐわん

狂宴は永遠に
続いた



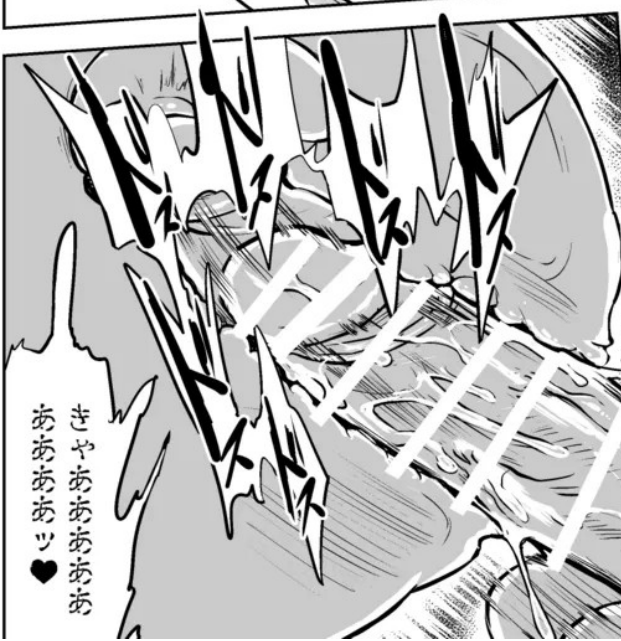
エルフ達はやがて
言葉も途絶え

ただひたすらに
ペニスを食り続けた









生々々々々々々々
あぁあぁあぁ♡



あぁ♡

あぁ♡

あぁ♡
あぁ♡
あぁ♡
あぁ♡



人間の欲望に
飲み込まれた
美しきエルフ達

彼女達の唄は
果てしなく続く――

